

2019年度事業計画書

関西・大阪に新たな風が吹き始めた。

本年6月には日本で初めてG20サミットが開催され、大阪に各国首脳が集合する。9月にはラグビーワールドカップが東大阪市花園ラグビー場をはじめ、各地で開催される。2021年には文化庁の関西全面移転が完了し、ようやく関西において地域に根ざした文化政策の立案・展開が実現することになる。

また、当協会の「第3次グランドデザイン」に基づき、民官一体となって推進してきた「水都・大阪」の中心ともいえる中之島には、計画以来40年ぶりに「大阪中之島美術館」が開館する。今や中之島には4つの特色ある美術館に加え、科学館や2つの図書館が集積し、ベルリンの観光スポットとして名高い「博物館島（ムゼウムスインゼル）」に匹敵する、文化の香る“ミュージアム群島”の様相を呈することとなる。さらに、2021年には、食文化の祭典「食博'21」に続き、スポーツの祭典、「ワールドマスターズゲームズ」が関西エリアを中心に展開され、人類の健康と長寿に貢献する関西の和食とスポーツを発信する好機でもある。

30年続いた平成が終わり、新たな元号が始まる節目の年、EXPO'70以来55年ぶりに開催される「大阪・関西万博」を目前に、これらの様々なビッグイベントを通じて大阪・関西の魅力を発信し、世界の都市間競争に打ち勝って行かなければならない。

当協会の事業に於いても、単なる従来の延長線ではなく、蓄積を生かしつつ思い切った既存事業の再構築を行い、文化による経済や地域の活性化に貢献することとしたい。

本年は万博記念基金事業やアーツサポート関西の助成を通じて、未来を担う人材を育成していくとともに、悠久の歴史・文化に根ざした大阪・関西の地域の魅力やポテンシャルを新たに発掘し、磨き、発信していくとともに、当協会が広域連携の結節点を担い、関係団体とのコラボレーションにより、水都の推進をはじめ、新たなまちづくりを促進する。

I 「助成と顕彰」

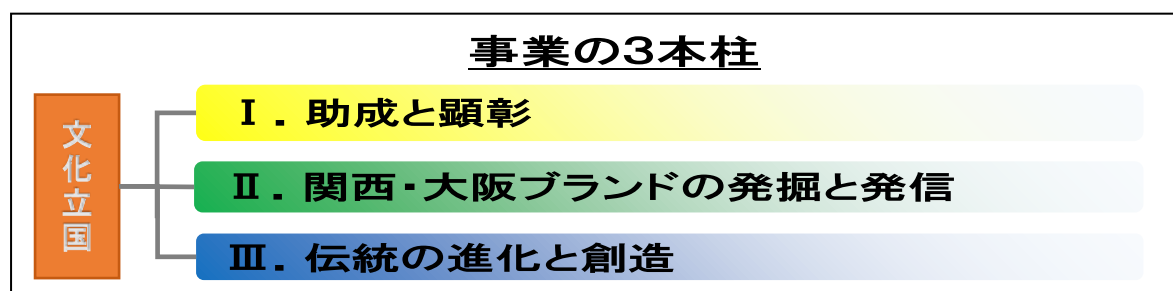
日本万国博覧会記念機構から承継した万博記念基金事業と、経済団体と協力して設立した民間版の文化支援組織「アーツサポート関西」の助成事業、および「大阪文化祭賞」などの人材育成（アーティスト支援）・顕彰事業を実施する。

II 「関西・大阪ブランドの発掘と発信」

「大阪ブランド・コミッティ」（2004～2007年）の流れを汲むもので、関西・大阪のポテンシャルや歴史・文化に根ざした地域の魅力を発掘し、発信を目指す。

III 「伝統の進化と創造」

当協会が広域連携の結節点機能を担い、関係団体とのコラボレーションにより、新たなまちづくりを促進する。これまでの社会実験の成果を踏まえ、「水都・大阪」の推進、「上方伝統文化」の振興、保護・育成を行う。



I. 助成と顕彰

1. 「日本万国博覧会記念基金」事業（公益目的事業2）

「日本万国博覧会記念基金」の運用益の一部をもって、日本万国博覧会の成功を記念するに相応しく、「日本万国博覧会開催の意図」の趣旨に適った国内外で実施される「国際相互理解の促進に資する活動」に対して助成金を交付し、人類の「調和ある発展」に貢献する。

あわせて、大阪府が設置する日本万国博覧会記念公園の運営管理に寄附する。

ア. 助成金交付事業

A. 助成金交付対象分野

日本万国博覧会の成功を記念するに相応しく、「日本万国博覧会開催の意図」の趣旨に適った以下の活動を助成金交付対象とする。

- 国際相互理解の促進に資する活動
 - …国際文化交流、国際親善に寄与する活動
 - …教育・学術に関する国際的な活動

B. 重点助成及び一般助成

(1) 重点助成

- ・助成金 1,000 万円を上限として数件程度採択を予定。（相応しい活動がない場合は「該当なし」とするときもある）
- ・「日本万国博覧会開催の意図」の趣旨により適い、また新規性がある活動で、今後大きな助成の効果が期待できる万博記念基金事業の「顔」となるシンボル活動を重点助成の対象とする。
- ・重点助成の対象となる活動には「万博助成ならでは…」、「万博助成だからこそ…」等独自性の発揮を求める。

(2) 一般助成

- ・助成金 300 万円を上限として数十件程度を採択する。

C. 2019 年度 助成金交付事業

(1) 2019 年度助成金交付

- ・2018 年度中に交付決定を行った助成金交付対象事業（46 件 8,840 万円予定）に対し、各事業の完了後に報告書の提出を受け、助成金を交付する。

2019 年度助成金交付決定

(単位：件、万円)

	重点助成	一般助成	合計
国際文化交流、国際親善に 寄与する活動	(1) 640	(26) 4,835	(27) 5,475
教育、学術に関する国際的な 活動	(0) 0	(19) 3,365	(19) 3,365
合 計	(1) 640	(45) 8,200	(46) 8,840

※上記数値は理事会承認予定の件数及び金額

(2) 実地調査及び事後評価等

- ・国内で行われる助成金交付対象事業の実地調査を行う。
- ・模範的な団体の活動ノウハウの共有と対外発信の強化を図る。
- ・助成対象事業者からの報告書と実地調査の結果を踏まえて事後評価を行い、次年度以降の評価に反映する。

D. 2018 年度 助成金交付事業の繰越

- ・2018 年度助成金交付事業のうち、助成金交付対象事業の完了時期が 2019 年度となるものについて事業の繰越を行う。

E. 助成金交付事業の「見える化」への取組み

- ・国内（一部国外も含む）の助成事業者を一堂に集め、「助成金贈呈式」を開催。合わせて前年度の模範事例の発表などの成果報告会等を行う。
- ・経済界やマスコミ、行政、関西の総領事、学識経験者（審査員）、理事、評議員など関係者に広く参加を呼び掛け、事業の「見える化」を促す。
 - …開催日程 2019 年 5 月 28 日
 - …開催場所 大阪ビジネスパーク円形ホール
 - …参加者数 助成事業者、関係者合わせて 100 名程度

F. 2020 年度 助成金交付事業の募集活動

- ・募集方法 ホームページへの掲載や関係先への募集要項送付
- ・募集説明会 東京・大阪会場
- ・募集時期 2019 年 7 月～9 月
- ・助成総額 9,200 万円（国内外事業助成予定総額）
- ・助成対象事業の選考 審査会の開催 2020 年 1 月～2 月
- ・助成金の交付決定 決定時期 2020 年 3 月

〔 日本万国博覧会記念基金事業審査会への諮問、
同審査会の答申を受けて理事会で決定する。 〕

2025 年大阪・関西万博の開催が決定したことを受け、助成対象の中でも特に同万博の成功につながる活動を優先的に採択するものとする。

イ. 大阪府が設置する日本万国博覧会記念公園の管理運営に寄附する事業

2025 年大阪・関西万博誘致活動の終了に伴い、2019 年度からは再び大阪府が設置する日本万国博覧会記念公園の運営管理に寄附する。

【寄附金額】 1 億 5,000 万円程度（万博記念基金の運用益の二分の一）

2. 「アートサポート関西」(ASK) 事業 (公益目的事業3)

広く民間から寄附を集め、関西・大阪の文化・芸術分野で活動する団体や個人に助成することにより、優れた伝統文化の継承、新しい芸術的価値の創出を進めて関西・大阪の活性化に寄与するとともに、関西・大阪の寄附文化の醸成を図る。

ア. 寄附集め活動

「広く、薄く、皆で支え合う」アートサポート関西(ASK)の基盤となる「ASK寄附型自販機」の普及拡大や、「ASKサポーターズクラブ(法人会員/個人会員)」の加入拡大に地道に取り組むとともに、「負担感のない寄附」獲得の新たな取り組みとして「ASK古本寄附」を開始し、安定した寄附財源の拡充を図る。

また、近く周年を迎える企業への「周年寄金」創設提案や「ASK5周年感謝の集い」の企画推進などを、ASKの生みの親でもある関西経済同友会と連携を取りながら進め、企業や個人から広く寄附を集める。

- A. 「ASK寄附型自販機」の普及拡大
- B. 「ASKサポーターズクラブ(法人会員・個人会員)」の加入拡大
- C. 「ASK古本寄附」の企画推進
- D. 近く100周年等の節目を迎える「周年企業」への提案推進
- E. 「ASK5周年感謝の集い」の企画推進(関西経済同友会と連携)

⇒寄附者やASKサポーターズクラブ会員をご招待して5年間のご支援に感謝

イ. 助成事業

A. 2019年度 公募助成事業の実施

(1) 一般公募助成

2018年度に募集、審査して交付決定した事業者への助成と助成事業完了後の評価、確認を行う。

2019年度助成金交付決定

(単位: 件、万円)

	件数	金額
美術	2	100
音楽	3	140
舞台芸術	4	220
伝統芸能	1	40
合計	10	500

※上記数値は理事会承認予定の件数及び金額

(2) 個別寄金助成

各々の個別寄金の趣旨に合わせて、2018年度に募集、審査して交付決定した事業者への助成と事業完了後の評価、確認を行う。

①前年度からの継続事業

助成名	助成総額	助成分野	対象者
「寺田千代乃 上方落語 若手噺家支援寄金」助成 (5年目)	50万円	伝統芸能	公益財団法人 上方落語協会 ※助成先は10年間継続

②公募済みの事業

助成名	助成総額	助成分野	対象者
「岩井コスモ証券 ASK支援寄金」助成 (3年目)	400万円	美術・デザイン 音楽、伝統芸能	国際的に高い水準の芸術・文化活動を行う者もしくはその潜在性を有する者で、広域関西を拠点に活動する35歳未満の若手芸術家個人(大阪を拠点に活動する者を優先的に支援)
「八千代電設工業 伝統芸能支援寄金」 助成 (3年目)	100万円	能楽における青少年を対象にした教育普及活動	広域関西において左記の活動を行う団体
「北倶楽部記念寄金」 助成 (3年目=最終年度)	45万円	大阪市北区内で行われる芸術・文化活動	大阪市北区内で左記の活動を行う団体
「ソフィア寄金」助成 (2年目)	5万円	・現代美術における平面作品の制作活動 ・他者に幸せをもたらすことを意図した作品であること	広域関西に拠点を置く現代美術作家
「丸一鋼管文楽支援寄金」助成 (2年目=最終年度)	250万円	文楽 〔若者の文楽鑑賞機会を創出する活動〕	若者に文楽の本格的な鑑賞機会を創出する事業「そうだ文楽へ行こう！ワンコインで文楽」の実施団体、または類似の事業を行う団体 〔2018年度～2019年度に亘って「ワンコイン文楽」事業を行う 予定だった NPO 法人文楽座が 2019年3月末で解散することになり、2019年度は文楽協会が同事業を継承予定〕

③2019 年度に新たに公募して年度内に実施する予定の事業

助成名	助成総額	助成分野	対象者	募集期間
「日本電通メディア アート支援寄金」 助成 (2年目)	100 万円	メディア アート	広域関西に拠点を置く メディアアーティスト (但し大阪を拠点に活動 する者を優先的に支援)	2019 年 4 月～5 月

B. 2020 年度助成事業の募集

① 一般公募助成

助成総額	助成分野	募集期間	募集方法
500 万円	美術・デザイン、音 楽、舞台芸術、伝統 芸能	2019 年 12 月 ～2020 年 1 月	協会ホームページへの掲 載、関係先へのメール等 による案内、募集説明会 の開催など

② 個別寄金助成

助成名	助成総額	助成分野	募集期間	募集方法
「岩井コスモ証券 ASK 支援寄金」助成 (4年目)	400 万円	美術・デザイン、音 楽、伝統芸能	2019 年 12 月 ～2020 年 1 月	協会ホームペー ジへの掲載、関 係先へのメール 等による案内、 募集説明会 の開催など
「八千代電設工業伝統 芸能支援寄金」助成 (4年目)	100 万円	関西で行われる能 楽における青少年 を対象にした教育 普及活動		
「上町台地現代アート 創造支援寄金」助成 (2年目)	50～100 万円	現代アート		
「匿名寄金」助成	5 万円	インディーズバン ドによる音楽活動		
「一花咲かせる！寄金」 助成	5 万円	25 歳以下のアー ティストによる新し い技術、自作の楽器 などを利用した表 現活動		
「コクヨ文楽支援寄金」 助成 (2 か年総額 500 万円 の継続助成を実施)	(2020 年度) 250 万円	関西における文楽の 普及発展に貢献する 活動 (寄附者の意向 により詳細を決定)	2020 年 2 月下旬 ～3 月上旬	

C. 評価・審査委員会、運営委員会の開催

文化、芸術の専門家や外部有識者によって構成される評価・審査委員会において選考を行い、運営委員会で確認、理事会で決定する。

- ・評価・審査委員会 2020年2月頃
- ・運営委員会 2020年2月～3月上旬（理事会：3月）
- ・助成金交付決定 2020年3月

ウ. 「ASK 5周年感謝の集い」の開催

2014年4月に発足して5周年の節目を迎えるASKを支えて頂いた寄附者、サポーター（法人・個人）への感謝の意を込めて、生みの親でもある関西経済同友会と連携を取りながら、「感謝の集い」を開催し、5年間の成果を披露。様々な助成先のパフォーマンスをご披露し、助成先と支援者の交流を深めていただく。

その場で、「ASK寄附型自販機」、「ASKサポーターズクラブ（法人・個人）」に続く第3の取組みとして、「ASK古本寄附」を発表。「負担感なく、手軽に参加できる」取組みへの協力の輪を拓ける。

エ. 広報活動

- (1) 個別寄金の寄附者との共同記者会見の企画・運営
- (2) 「ASK古本寄附」等新たな取組みのマスコミ発信、話題作り
- (3) 当協会や関西財界のイベントに、助成先（アーティスト）の出演機会を設ける等、経済界と助成先の橋渡しをする。
- (4) 助成事例の紹介や新しい寄附集め方策の提案発表など、絶えず効果的に对外発信を続けることで、躍動するASKのイメージ形成と関西の寄附文化醸成に努める。

3. 人材育成（アーティスト支援）

ア. 大阪文化祭賞（公益目的事業1）

大阪の芸術文化活動の奨励及び普及を図り、文化振興の気運を醸成することを目的とし、大阪府・大阪市とともに大阪府内で行われる公演を対象に、優れた成果をあげた個人または団体に賞（表彰状・表彰楯・副賞）を贈呈する。

主 催 大阪府、大阪市、(公財)関西・大阪21世紀協会

贈 呈 式 2020年2月～3月

イ. アートストリーム2019（公益目的事業1）

公募選考により、さまざまなジャンルの新進気鋭のアーティストやクリエイターを幅広く発掘し、発表の場を設けるとともに、ビジネスマッチングの機会を創出することで、関西の芸術・文化の高揚を図る。

主 催	アートストリーム実行委員会 〔大阪芸術大学、大阪府、大阪市、 (公財)関西・大阪21世紀協会(事務局)〕
実施時期	2019年9月6日～8日(予定)
場 所	大丸心齋橋店 北館14階(予定)

II. 関西・大阪ブランドの発掘と発信

1. シンポジウム・フォーラムの開催

ア. 関西・大阪文化力会議(公益目的事業1)

ユネスコ無形文化財に登録され、いまや世界的な広がりを見せている「和食」。しかし、海外の日本食レストランで提供される料理が和食というには程遠いものであったり、国内においても若者を中心とした米離れや伝統的な和食文化の変容が起こるなどなど、和食の危機を提唱する識者もいる。

そこで和食を系統的に整理し、和食文化の継承や普及の方向性を見定め、人類の健康に貢献する和食を世界に発信するため「インターナショナル和食フォーラム(IWF)」を開催する。

実施時期 2019年10月上旬(予定)

場 所 大阪府立男女共同参画・青少年センター(ドーンセンター)(予定)

2. 関西食文化のブランディング

ア. 動画「御食国・関西」の制作とYouTube発信(公益目的事業1)

関西の和食文化を深掘りし、ケーブルテレビとのコラボレーションにより、動画を制作、放送する。放送後は当協会ホームページのコンテンツとして動画を掲載する。

3. 関西ブランドの発信

ア. 「KANSAI*OSAKA文化力」の発行(公益目的事業1)

関西・大阪のブランド力の向上を目的として、当協会の取り組みや芸術・学術・技術の三術をはじめ、生活文化、祭事、スポーツなど、さまざまな分野における関西の文化資源や人材を発信するブランド情報誌(機関誌)を発行する。

公立図書館や大学、高校、公的機関、マスコミ等へ広く配布(約1万部)

発行回数 年3回

イ. 関西国際空港での映像発信(公益目的事業1)

関西の四季折々の魅力(景観やお祭り、季節の風物詩など)や、バラエティに富む関西の食の魅力を収めた、四季の関西ブランド映像集『Welcome to KANSAI ~

四季の関西・大阪の魅力〜』を3～4作品制作する。

関西国際空港の税関エリア及び入管エリアで上映し、海外から関西を訪れた観光客に関西の魅力を訴求する。また関西エアポート株の方針にも沿い、大阪空港での上映実現に協力する。

ウ. ホームページ、SNS による発信（公益目的事業1）

大阪のさまざまな伝統行事や当協会が主催する芸術文化活動の最新ニュースや動画をタイムリーに発信するとともに、ウェブマガジンを通じてブランド情報をネット上に蓄積する。

エ. 御堂筋でのバナー展開（収益事業）

当協会が保有する御堂筋や長堀通りの街路灯のバナー取付具を活用し、都市のブランディングに相応しいイベントバナーを掲載し、景観の向上を図る。

オ. 2025 大阪・関西万博理念検討委員会（仮称）（公益目的事業1）

1970年大阪万博では、開催に先立って、文化人類学の梅棹忠夫、メディア論の加藤秀俊、作家デビュー間もない小松左京などが自発的に勉強会（万国博を考える会）を立ち上げ、多角的に万博を検討し続けた成果が最終的にテーマや基本理念に織り込まれ、かの万博の成功に貢献した。今年度は、その先例に習い、当協会が独自に2025年大阪・関西万博の理念を検討する委員会を立ち上げ、理念等の検討を進める。

3. ネットワークと理解促進

ア. 21cafe（その他事業1）

関西・大阪等で文化創造活動や街づくりに携わる多彩なゲストを招き、話題提供と情報交換をサロン形式で開催する。異分野の参加者が交流し、新しいアイデアやコラボレーションを創出するとともに、マスコミ関係者をはじめ、当協会の人的ネットワークの幅と厚みを拡大し、文化力向上の一助とする。

実施回数 通年（年4回）

イ. 後援・協力（その他事業1）

関西・大阪の文化振興、地域活性化に資する団体、個人、行事について後援（後援名義の使用許可、賞状・楯の授与等）を行い、協会だよりで広く活動を紹介する。

ウ. 広報活動（公益目的事業1）

当協会の活動を広く理解してもらうために、マスコミ関係者とのリレーションを強化し関西プレスクラブへの参画等の取り組みを行う。

Ⅲ. 伝統の進化と創造

1. コラボレーションによるまちづくり～オリンピック文化プログラムの推進～

ア. 平成 OSAKA 天の川伝説 2019 (公益目的事業1) (仮称;新元号が決まり次第変更)

八軒家浜界隈に「いのり星®」を放流し、大川の川面に天の川を描く「OSAKA 天の川伝説」は水都大阪を彩る七夕の風物詩として定着した。

地元商店街や大阪天満宮、生國魂神社、水上安全協会など関係者とのコラボレーションをいっそう強化するとともに、当協会は連携の結節点としてまちづくり推進の役割を果たし、当イベントの更なるブラッシュアップを図る。

また、「八十島祭」を2020年に復活させようと計画中の生國魂神社による『二人神楽』を会場で披露し、2020年に向けてのPR活動を行う。

主 催 (一社)おしてるなにわ

共 催 (公財)関西・大阪21世紀協会

実施時期 2019年7月7日(日)

※ 荒天、増水等で中止の場合、8月7日実施予定

イ. Flügel abend 2019 (公益目的事業1)

関西・大阪の舞台芸術を代表するアーティストによるパフォーマンスで、関西・大阪の文化を広く国内・海外に発信。アーティスト育成・支援を通じ、関西・大阪の文化、観光、経済に寄与するとともに、東京オリンピック・パラリンピックの文化プログラム beyond 2020 に相応しい内容を目指す。

主 催 (公財)関西・大阪21世紀協会

共催(予定) 大阪文化フェスティバル実行委員会

〔大阪府、(公社)関西経済連合会、大阪商工会議所、(一社)関西経済同友会、(公財)大阪観光局、(公財)関西・大阪21世紀協会〕

実施時期 2019年10月下旬～11月

場 所 ザ・シンフォニーホール(予定)

ウ. 大阪城サマーフェスティバル 2019 (公益目的事業1)

「大阪の芸術文化の情報発信力の強化」、「大阪の賑わい創出」を目的として大阪城サマーフェスティバル実行委員会に参画し、「オリンピック・パラリンピック文化プログラム」参加の結節点機能を果たすとともに、大阪城周辺で実施されるさまざまなイベントの情報を集約した合同の告知パンフレットを発行して、大阪の魅力発信と観光集客を目指す。

主 催 大阪城サマーフェスティバル実行委員会

(大阪府、大阪市、経済団体、関西・大阪21世紀協会(事務局)等)

実施時期 2019年7月～9月(予定)

エ. 八十島まつり（公益目的事業1）

新天皇の即位の年を迎え、かつて古い時代に即位儀礼の一つであった「難波の八十島祭」の歴史を振り返り、大阪のアイデンティティを再考する機会とする。シンポジウム開催、新聞社との連携により、2020年（大嘗祭の翌年）の吉日に八十島奉祝祭を実施するための気運醸成を図る。

オ. インターナショナルワークショップフェスティバル「DOORS」（公益目的事業1）

市井に埋もれたアーティストや作家を発掘し、大阪の伝統芸能からポップカルチャー、最新アートなど、ワンコイン（500円）で参加できる体験型ワークショップを集中開催し、大阪まちおこしの一助とする。

13回目を迎える今年度は、DOORSのアーカイブサイトを立ち上げ、これまで蓄積したデータベースと開催ノウハウの活用を図る。またインバウンド向けのワークショップの開催も模索する。

主 催 International Workshop Festival 実行委員会
（アートサポート共同事業体、(公財)関西・大阪21世紀協会）
実施時期 2019年7月～8月

カ. 大阪城公園での吹奏楽パレード（公益目的事業1）

関西吹奏楽連盟の依頼により、関西の高校吹奏楽のレベル維持、向上に向けた発表の場を設けるため、企業の社会的貢献（CSR）の観点から賛同企業を募り発表の場を実現する。

具体的には、高校生を中心に国内外の吹奏楽団、音楽団にも呼びかけ、海外からの観光客で賑わう大阪城公園でマーチングパレードを披露。大阪のイメージアップと国内外からの誘客のための賑わい策としても実施する。

キ. 『なにわの企業が集めた絵画の物語』PART2展（仮称）の実施協力（公益目的事業1）

関西経済同友会企業所有美術品展実行委員会が主催する「なにわの企業が集めた絵画の物語」PART2展（仮称）の実施にあたり、学芸員業務や教育普及活動業務などに関する企画運営協力を行う。

主 催 関西経済同友会企業所有美術品展実行委員会
実施時期 2020年1月

ク. 広域連携支援／「北前船寄港地フォーラム」の支援（公益目的事業1）

「(一社)北前船交流拡大機構」が地方創生への貢献を目的に実施する「北前船寄港地フォーラム」を支援する。

また、北前船各寄港地の日本遺産認定に伴い、同機構が推進する「日本遺産」啓発事業に対して関西から広域へ及ぶ連携への協力を行う。

支 援 期 間	通年
フォーラム実施時期	5月、7月、9月、11月
日本遺産への協力	通年

2. 上方文化芸能の振興と無形文化財の保護・育成

上方文化芸能振興事業及び上方伝統行事に、上方文化芸能運営委員会が協賛し、あるいは主催者として当協会の他事業との相乗効果や総合力を発揮できるような展開を図る。

上方伝統行事については、記録映像を集積し協会ホームページで発信する。

ア. 上方文化芸能振興事業 伝統文化行事の伝承者の育成

A. 「日本の文化・芸能に親しむ」の公演等

1) 上方の伝統芸能の公演

実施時期 2019年10月17日（木）
場 所 国立文楽劇場

2) 上方町人文化を味わう

天神祭 船渡御に参加

B. 季刊雑誌「やそしま」の発行

C. 上方の文化、芸能の資料収集等

イ. 上方伝統行事への共催・協賛

A. 今宮戎神社宝恵駕行事[無形民俗文化財]（2020年1月10日）協賛

B. 住吉大社御田植神事[重要無形民俗文化財]（2019年6月14日）共催